

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 03 06	中期総合計画主要施策番号	3-02	担当課	部・課	健康福祉部 医療推進課
事業名	広域災害・救急医療体制整備事業			内線	2619	
				E-mail	iryu@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	559 ~	根拠法令等	医療法、救急医療対策事業実施要綱			
実施方法	・賃貸借契約により情報システムを賃借し、直接実施（契約先：株式会社NTTデータ） ・入力管理・運営指導を委託（長野県医師会）					国庫・県単 国庫補助事業・県単独事業
事業の概要等	目的（必要性）	・救急・災害・周産期医療に係る情報を収集し、県民、医療機関、消防機関に提供することにより、救急・災害・周産期の医療提供体制の整備を図る。 ・医療機関の機能に係る情報をインターネット等を通じて県民に提供することにより、県民の適切な医療の選択を支援する。				
	対象	・県民、医療機関、消防機関				
	目指すべき姿	・救急・災害・周産期医療に係る情報の収集及び提供により、患者が適切な医療機関での診察・治療を短時間で迅速に受けられる体制をつくる。 ・医療機能情報の収集及び提供により、県民の適切な医療機関選択と満足できる医療提供の円滑化を促進する。				
	事業内容	救急・災害・周産期医療に係る情報及び医療機関の機能に係る情報を収集・提供する。				
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)
	最終予算額 (A)		千円	34,813	38,279	38,159
	決 算 額 (B)		千円	34,561	38,874	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	24,653	28,082	26,167
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10
	概算人件費 (C)		千円	832	826	826
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	35,393	39,700	38,985
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)
	県民による利用(アクセス数)(成)		回	621,040	1,105,517	1,940,000
	消防機関による利用(アクセス数)(成)		回	4,956	5,256	5,380
	医療機関による利用(アクセス数)(成)		回	115,806	184,296	240,000
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 情報アクセス1件当り経費		円/件	47.7円	28.5円	20.0円
左記以外のH23年度実績 平成23年9月末の契約満了に伴い、平成23年10月1日からより使いやすいシステムに変更を行った。 23年度のアクセス数は、10月1日以降は新システムによる実績。 (効率指標 算出式) 総事業費/総アクセス数						
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価		評価区分
	・消防機関や医療機関による利用率アップの方策や病院入力のあり方など、今後の利用増加へつながる運用方法について検討する。 ・医療法に定める「医療機能情報提供制度」に基づく情報提供システムの円滑な運用を図る。			・平成23年10月からの新システムでは、消防機関等の要望を踏まえ、専門科目の情報を新たに追加掲載した。 ・システム入れ替え時に、登録情報の精査や、廃業済み医療機関の削除等を行ない、より信頼できる情報発信につながった。		b 期待どおり
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・休日夜間緊急医案内サービスをフリーダイヤルから利用者負担に変更したことで、年間200万円余の経費削減効果が期待できる。 ・当直医情報の追加および医療機関が行なう登録情報の更新を通じて、安心して室の高い医療の提供につながる。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
総合分析(今後の課題、取組方針等)	・より利用者が安心して利用できるシステムとするためには、医療機関による情報更新の頻度を高め、提供医療機関情報の精度を高めていく必要がある。					
総合分析等	特記事項					